

ELECTRONIC MAIL DEVICE

Patent Number: JP5014405
Publication date: 1993-01-22
Inventor(s): TANIBAYASHI YOICHI
Applicant(s): MITSUBISHI ELECTRIC CORP
Requested Patent: ☐ JP5014405
Application Number: JP19910164476 19910704
Priority Number(s):
IPC Classification: H04L12/54; H04L12/58; G06F13/00; H04L29/12
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PURPOSE: To obtain the electronic mail device in which a sender does not send directly relevant information relating to an electronic mail and a receiver easily collects the relevant information as required.

CONSTITUTION: When the user 7 at the receiver side selects relevant information identifier 11 or 12 included in an electronic mail received by the user, a relevant information request is sent to a relevant information processing section 8 through a user interface section 6 and a processing section 3. The relevant information processing section 8 sends the relevant information request to an electronic mail device 1 at the sender side storing the relevant information on request. On the other hand, the electronic mail device 1 at the sender side receiving the relevant information request sends the relevant information stored in the relevant information processing section 8.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

特開平 5 - 1 4 4 0 5

(43) 公開日 平成3年(1993)1月22日

(51) Int. Cl. ⁵	国際記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 L 12/54				
G 0 6 F 13/00	3 5 1 G	7369-5 B	H 0 4 L 11/20 1 0 1 B	
		8529-5 K	13/00 3 1 7	
		8020-5 K		
審査請求 未請求 請求項の枚数 1				

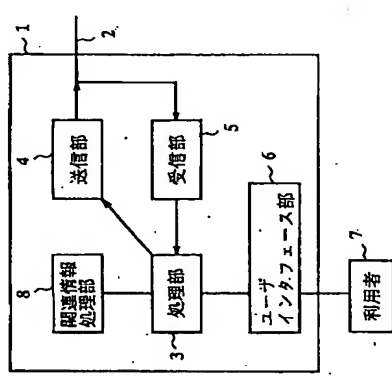
(21) 出願番号	特願平3-164476	(71) 出願人	000006013 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 谷林 陽一
(22) 出願日	平成3年(1991)7月4日	(72) 発明者	鎌倉市大船五丁目1番1号 三菱電機株式会社 社情報電子研究所内
		(74) 代理人	弁理士 高田 守 (外1名)

(54) 【発明の名称】 電子メール装置

(57) 【要約】

【目的】 送信者が電子メールに送附する送附情報を直接送らず、受信者が必要に応じて、送附情報を容易に取り寄せることができる電子メール装置を得る。

【構成】 受信側の利用者が受信した電子メールに含まれている送附情報識別子が11または12を選択すると、送附情報要求が、ユーザインタフェース部6、処理部3を通じて、送附情報処理部8に送られる。送附情報処理部8は、要求された送附情報を保持している送信側の電子メール装置1に送附情報要求を送る。一方、送附情報要求を受けた送信側の電子メール装置1は送附情報処理部8に蓄えられている送附情報要求元を送る。



【発明の要約】

【請求項1】 電子メールを蓄える処理部、上記電子メールと送附する送附情報を蓄える送附情報処理部を備え、送信側では、上記送附情報を上記送附情報処理部に蓄え、受信側では、上記送附情報を上記電子メールに蓄え、受信した上記電子メールを上記電子メールに蓄え、必要とする送附情報の上記送附情報処理部に指定することにより送信側の送附情報処理部に蓄えられている送附情報を自動的に受信することを特徴とする電子メール装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】
【産業上の利用分野】 本発明は、電子メールの送信者が送信する電子メールに送附した送附情報自体は転送しなくても、送信する電子メールに送附情報識別子を付加しておき、受信者が送附情報が必要とした時に、送附情報識別子を選択することによって、その送附情報を自動的に取得することができる電子メール装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来の電子メール装置としては、斎藤忠夫、「電子メールとグループ通信」(1015頁、1987年8月、情報処理学会、情報処理Vol.28, No.8)に示されているものがあつた。このような電子メール装置は、送信側の利用者が入力した電子メールを送り先に送信し、受信側では電子メールを受信し、利用者が要求したときにその電子メールを取り出すといった機能があつた。図3はこのような従来の電子メール装置の構成を示す構成図であり、1は電子メール装置、2は送信路であり、電子メール装置1は、処理部3、送信部4、受信部5、及び複数のユーザインタフェース部6を備えている。7は利用者である。

【0003】 次に動作について説明する。上記の構成に基づき従来の装置において、送信路2は、上記と同様の構成の他の電子メール装置1と接続されており、処理部3は送信部4、受信部5、ユーザインタフェース部6の制御、及び電子メールの蓄積を行い、送信部4は他の電子メール装置1への送信を行い、受信部5は他の電子メール装置1から送られてきた電子メールの受信を行う。ユーザインタフェース部6は、利用者が7が受信した電子メールを表示・整理・保存したり、送信する電子メールを入力し編集する。

【0004】 電子メールは、ある形式に従って記述されるが、形式の例としては、David H. Crocker, 「Standard for the Format of ARPA Internet Text Messages」、RFC #822, August 13, 1982に示されるものがある。図4は、このような一般的な電子メールの形式の例を示したものであり、9はヘッダ部、10は本文である。ヘッダ部9には、宛先、送信元、日時等の制御情報が記載

され、主に図3の処理部3がこれを理解し処理する。本文10は、利用者が7が電子メールの本文を記述する部分である。利用者が7が入力した電子メールは、以上のような形式で処理部3に送られ、処理部3はヘッダ部9の宛先を見て、宛先で示された電子メール装置1を選択し、送信部4からそこに転送する。上記のように選択された受信側の電子メール装置1の受信部5は、電子メールを受信すると、利用者が7から指令を受けるまで処理部3で蓄積する。そしてユーザインタフェース部6を通じて利用者が7から指令を受けると、その指令に応じて電子メールを出したり、削除するなどの処理を実行する。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 従来の電子メール装置及び電子メールの形式では、以上のように構成されているので、ある電子メールに送附した送附情報をやり取りする場合、送信側の利用者が7が必要とされる送附情報そのものを一つの電子メールにまとめた、複数の電子メールに分割して直接送信するか、または受信側の利用者が7が、受信した電子メールの送附情報で必要なものについて、送信側の利用者が7と連絡をとり、あらためて送信してもらうという方法しかあつた。前者は本文に含めた情報が受信側の利用者が7にとって不必要な場合、その情報は全く無駄なもので、ネットワークに不必要な負荷をかける。後者は受信側、送信双方の利用者が7にとって、手間のかかることで時間的な無駄も多い。

【0006】 この発明は上記のような問題を解決するためになされたもので、送附情報そのものを直接電子メールの本文に含める必要がなく、受信側の利用者が7が必要とときに、宛先に、しかも、送信側の利用者が7の手間を煩わせず、送附情報を取り寄せることができる電子メール装置を得ることを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】 この発明に係る電子メール装置は、電子メールを蓄える処理部、電子メールと送附する送附情報を蓄える送附情報処理部を備え、送信側では、送附情報を送附情報処理部に蓄え、受信側では、送附情報を識別するための送附情報識別子を付加した電子メールを送信し、受信側では送附情報識別子を受信したときに、電子メールに付加されている送附情報識別子を指定することにより送信側の送附情報処理部に蓄えられている送附情報を自動的に受信するようにしたものである。

【0008】

【作用】 この発明における電子メール装置は、電子メールの受信者が電子メールに含まれている送附情報識別子を指定することにより、その送附情報が宛先に蓄えられている電子メール装置を認識し、自動的にそこから送附情報を得る。

【0009】

